

総合心療センター 医療相談室

主任 植木 美佐

はじめに

2025 年は 3 名でソーシャルワーク業務にあたったが、12 月 1 日付で 1 名他部署異動となり 2 名体制となった。

2025 年を振り返って

本年の対応件数は月平均約 450 件だった。(図 1)

外来部門では例年通り障害年金申立や自立支援などの経済的相談が最多となり、次いで退院後の在宅生活におけるモニタリング面接や関係機関とのカンファレンスなど在宅ケア相談が多かった。(図 2) 特に障害年金申し立てにおいては、この 1 年全国的に精神障害の不支給判定が急増しており、それに伴う診療録などの追加資料請求や不服申し立てに関する相談への対応にも追われた。また医療観察法指定通院医療機関として継続していたケースはいずれも処遇終了となった。

入院部門では退院支援が半数を占め 1813 件の対応となった(図 3) 特に退院前訪問では昨年の倍となる 80 件を実施。内 45 件が看護師との共同訪問で単独訪問件数も 35 件と急増している。背景には家族支援を受けられない退院先を失った患者に対して、住む場所を一緒に探す支援を行ったり、病状や特性によりゴミ処分が出来ずそのための環境調整を行う必要があったためである。病状及び環境アセスメントのための共同訪問以外にソーシャルワーカーが地域移行支援事業所など他機関と連携しながら訪問する場面も多かったのもその要因である。(図 4)

また、今年も措置入院患者の受け入れが複数あり、治療中断となるケースもあったが退院後支援計画を作成する地域保健所と入院初期から連携を取り、入院中だけでなく退院後の経過に対しても本人・家族・支援者と定期的にモニタリングを行った。

さらに虐待防止委員会のメンバーとして心理的虐待を取り上げた勉強会を企画し、模擬ケースを用いて各部署で振り返りを実施した。どの様な言動や態度が虐待にあたるのか意見を出し合い、精神科医療現場で業務にあたる職員として適切な対応について共有することができた。

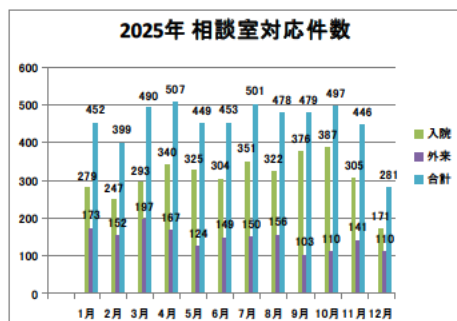


図 1 相談室対応件数

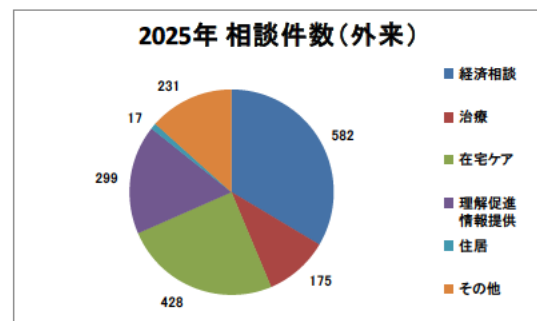


図 2 相談件数(外来)

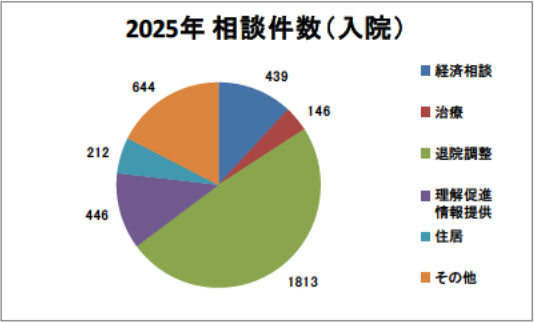


図3 相談件数 (入院)

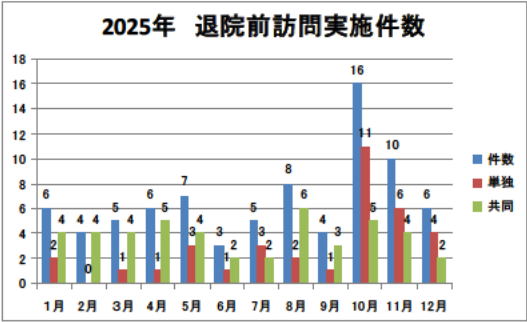


図4 退院前訪問実施件数

2026 年へ向けて

病棟再編工事が始まる中2名体制となったが、業務の選択と集中を意識し患者の人権擁護に携わる精神科急性期治療病棟の専門職として、質の高いソーシャルワークの提供と後進育成に関与出来る様努力していきたい。

実習受入れ状況

実習名	学校名	人数
精神保健福祉援助実習	高知県立大学	1名

学会発表

無し

出張

自殺再企図防止のための救急患者精神科継続支援研修会（2025/5/24～5/25）1名